



碧南ロータリークラブ週報

第2342回例会 平成18年12月13日(水)

● 会長 杉浦健次 ● 幹事 石川春久 ● 会場監督(SAA) 棚田道和

■ 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール

■ 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90

TEL <0566>41-1100 FAX <0566>48-1100

ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>

E-mail: info@hekinan-rc.jp

■ 会報委員 角谷信二・新美惣英・清澤聡之

2006~2007年度
国際ロータリーのテーマ

LEAD THE WAY

率先しよう

できるひとが
できるときに
できるところで

率先しよう

● 斉 唱

ロータリーソング「我らの生業」

● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

● 本日のお客様

一色RC会長 杉田亘恭君 幹事 鈴木茂朗君



杉浦健次会長

会 長 挨拶

冷たい雨の中ご出席を頂き誠にありがとうございます。本日の卓話はRI第2760地区新世代委員会委員米山郁生氏（青焔美術研究所代表、名古屋名東RC）で「新世代への問いかけ絵から心を読む」でございます。遠路碧南へお越し頂きありがとうございました。よろしく願い申し上げます。また、去る9月20日のガバナー公式訪問にて合同例会を持たせて頂いた一色RCから杉田亘恭会長、鈴木茂朗幹事がお越しでございます。後ほど杉田会長にはご挨拶を頂きたいと存じます。さて、碧南市民憲章推進協議会（黒田昌司会長）より永年継続してあたたかく明るい郷土「碧南」をつくることに努めた人（団体）を市民憲章実践者として表彰したいので該当者の推薦をして欲しいとの依頼がありました。心当たりの方がありましたら事務局までお申し出をお願い申し上げます。今月は家族月間であります。ウィリアムBボイドRI会長の本年度の強調事項は水保全、識字率向上、保健および飢餓そしてロータリー家族であります。碧南RCも来る12月16日（土）衣浦グランドホテルにて家族会を開催する運びとなっております。総勢130名の会員並びに家族の方々にご参加を頂きご懇談、親睦をはかっているところでございます。「碧南RC家族」が心をつなげてロータリーの奉仕が充実拡大していく事を願うものであります。本日もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

一色RC会長挨拶

9月20日のガバナー公式訪問合同例会では大変お世話になり、早くお礼の挨拶にと思いましたが、なかなか忙しく本日より幹事と伺いました。一色クラブの会員も碧南クラブの良さに感動し、親クラブのような感じがするという会員の声も聞きました。一色クラブは私が入った20年前は60人の会員がおりましたが、現在30名になってしまいましたので、本年度の事業の大半が終わりましたので、来年からは会員増強に力をこめてやっていく方向になりましたので、今後も碧南クラブのご指導を宜しくお願いいたします。



一色RC会長 杉田亘恭君

幹事報告

- ・他クラブの例会変更等は幹事報告書の通り。
- ・年末・年始の例会変更等のお知らせ、クラブ協議会懇談会開催のご案内をメールボックスに入れました。
- ・羽田ガバナー補佐様より11月23日開催されましたガバナー補佐杯親睦ゴルフ大会の礼状が来ました。



石川春久幹事

委員会報告

〈出席奨励委員会〉

総会員数 78 名（内出席免除者 13 名）出席者 59 名	
出席対象者 52/65 名	出席率 80.00%
欠席者 19 名（病欠者 0 名）	前々回修正出席率 98.46%

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

〈ニコボックス委員会〉

- 米山 郁生様 本日はお招き頂きありがとうございます。つたない話ですがよろしくお願ひいたします。
- 杉田 亘恭君 合同例会では大変お世話になりました。
- 杉浦 健次君 } 一色ロータリークラブ会長・幹事さんの御来碧を歓迎します。
- 石川 春久君 }
- 鈴木 輝彦君 先日長田昌昇さん、平松太さんと一緒に楽しいひと時を過ごすことができました。ありがとうございました。また、お願いします。
- 伊藤 正幸君 本日、卓話の講師のご紹介を申し上げます。
- 奥田 雪雄君 12月10日身内の結婚式で青木稔さんの短歌「幕切れの主演は涙とめどなき ライトに浮かぶ花嫁の父、を紹介させて頂きました。フィナーレにピッタリでした。ありがとうございました。
- 角谷 信二君 RC12月度ゴルフにて繰上げでしたが優勝しました。
- 平松 太君 先日長田さん、鈴木さんに大変お世話になりました。若い私には人生の大きな勉強になりました。
- 堀田 益隆君 来月より現金に10万円以上の振込みは、本人確認が求められます。全ての金融機関が対象となります。詳しくはパンフをご参照ください。

〈ロータリー情報委員会〉

12月5日地区ロータリー情報委員会委員長会議の報告

基調講演「ロータリー情報委員会の役割」と今後のCLPの取り組みについての報告

卓話

「新世代への問いかけ 絵から心を読む」

地区世代委員会委員 米山郁生氏

ある講演で暗い絵を描く母子の絵を見ました。「なぜあなたたちは、こんなに気持ちが暗いのですか」と問いかけた。子供は高校生。母親が「この子はテストでいつも95点しか採れないんですよ」と言う。子供が「頑張っている」と一言。母親に「95点でいいんですよ。生涯95点であれば、この子はずっと頑張り続ける。5点足りないのではなく、その何倍も何十倍も努力する。それが大きな人間を創って行くのですよ。100点採ればそれで終わりですよ」。それから、母子の様子が変わりました。今、子供たちの心が揺れ



ている。いじめ、登校拒否、自傷行為、自殺、放火、少年犯罪、育児不安、児童虐待。青少年白書によると平成17年の全国の児童相談所に相談された児童虐待は1990年の1101件に比べ34451件とおよそ30倍にふくれ上がっている。相談所に届かない件数を含めると更に大きな件数が想定される。これらは、現代の社会が抱えた問題、社会状況の不安、経済的問題、夫婦不和、人間関係の孤立、孤独感そしてIT産業等、社会機構が変革されていく中で、直ちに対応できない人達はそのジレンマの中に取り残されていく。精神の荒廃、その中での子育て、親が愛情を見せないまま厳しく育てる。その度合いが過ぎて虐待となる。そして、子供達の中で大人社会を反映した様々な事件が起きる。子供に関わる様々な事件、事故、特にいじめの中でその事が起きる様子が見えてこない。判らないと多くの関係者は語る。しかし、それは見えてこないのではなく見ようとしてないのではないか。私の関わる絵画の中でも子供の心の動きは鮮明に絵に表れる。構図、色彩、筆圧、描き方、完成の度合い、そうした中から問いかけていく事によって心の動きが見えてくる。これは絵画のみならず、子供に関わる様々な職業分野の中で、深く問いかけていく事で物事が明確になってくるのではないか。子供を育てる最も大切な役割は母親である。子供に対する知・情・意がしっかりバランスを取れていれば子供は立派に育つ。ロータリーの四つのテストに重ねてみると①子供に真実を教えているか②兄弟や友人関係の中を公平に見ているか③情に力点を置いているか④個人の利益だけでなく皆に利益となる考え方を教えているか、である。私達は一人一人の子供たちを健全に育てる義務がある。その為には子供に関わる環境、家庭、学校、地域社会そしてそれらを補う最も大きな力、働く人々の家族の精神の安定を見守り、問いかけていくロータリーの力が総ての事象を前向きにしていく事になるのではないだろうか。ご清聴ありがとうございました。